

## 第382回テレビ神奈川放送番組審議会

1 日 時 2018年2月20日(火)午後2時～3時30分

2 場 所 MBC 2階 テレビ神奈川 第1会議室

3 委員総数 8名 出席者7名、欠席者1名 伊藤有孝委員

出席委員; 山田一廣委員長、布施勉副委員長、白石俊雄委員、林義亮委員、  
五大路子委員、吉川知恵子委員、二宮泉委員  
tvk;中村行宏社長、押川渉取締役、角田光広スポーツ部長、  
竹野洋介プロデューサー、近藤和之編成部長

4 議 題 (1)放送番組

資料:①2月のタイムテーブル

②2月・3月の特番一覧表

(2)視聴合評

『ありがとうベイスターズ！

今年も番組内でタイトル決めちゃいますSP！(仮)』

2017年12月30日(土)午後4時55分～5時55分

(3)その他 報告事項

・視聴者対応

報告期間:2018年1月13日(土)～2月16日(金)

・第381回(1月)放送番組審議会の議事報告

(「猫ひたプラス」2018年1月12日放送VTR)

5 議事内容 2ページ以降に記載

6 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

7 審議機関の答申または意見の概要を公表した内容・方法及び年月日

(1)2018年2月16日(金)「猫ひたプラス」(12:00～12:15)の

「放送番組審議会からのお知らせ」コーナーで審議内容を司会者が報告

(2)審議概要を当社インターネットホームページに掲載

近藤編成部長 定刻前ですが、全員揃いましたので、第382回テレビ神奈川放送番組審議会を始めさせていただきます。山田委員長お願いいたします。

山田委員長 それでははじめさせていただきます。私事ですが、冬の韓国に2度ほど足を運んだことがあります。昭和50年代のことです。冬の韓国はソウルでもインチョンでも本当に底冷えがするような寒さでして、肌に張り付く空気が痛い感じでした。そういう中で今回オリンピックが開催されているピョンチャンは、もっと北の方にありますので相当寒いのではないかなと想像を絶するぐらいの感じでした。そのピョンチャンで今熱い闘いが繰り広げられておまして、序盤戦日本はあまりパツとしませんでしたが、中盤から終盤にかけて選手が一生懸命頑張っ、前回よりメダル数が多いということで、これからも残された時間は少ないですが楽しみです。それでは382回番組審議会を始めさせていただきます。中村社長の方からお願いします。

中村社長 本日はお忙しいところをありがとうございます。今委員長からもお話がありました通り、今スポーツは冬のオリンピックですけれども、間もなく春の選抜高校野球が来月23日から開幕ということで、今回神奈川からも2校、東海大相模と慶応義塾の2校が出るということです。こちらの方、私どもはピョンチャンオリンピックは1日だけ放送させていただいただけでございまして、むしろこの春の選抜の両校の活躍に期待したいと思っております。下馬評だと東海大相模が「少し頑張れるかな」で、慶応の名前が全然下馬評には出てこないというのが今の状況のようですが。私どもも開幕の少し前に壮行番組もやりますし、実は3月9日金曜日に2校揃って表敬に来てくれる、そんな様子も撮らせていただこうと思っております。ピョンチャンの熱さに負けない闘いを、是非してもらいたいなと期待しているところです。あと、間もなく3.11が来るわけです。この前報道の人間に聞きましたら、私どものニュースでも「ボランティアバ

スをまた出します」というご案内をしようと。うちで出すわけではないですが、その数もだいぶ減ってきているわけですし、大人数でないとできないことというのは、だいぶ減ってきてはいるのですが、それでもまだまだ片付いていないことは多いでしょう。そうしたことをボランティアバスでみなさんで行っていろいろ支援するというのも、忘れずに伝えていかなくてはいけないなということ、この間も報道と話をしながら改めて感じました。そんなことで、今日もよろしく申し上げます。

山田委員長

ありがとうございました。それでは、本日の議題に沿って進めていきたいと思えます。まず最初に放送番組について。これはお手元の2月のタイムテーブル、2月・3月の特番一覧表を参照していただきながら、事務局からお願いいたします。

近藤編成部長

それではまずタイムテーブルのご説明をさせていただきます。表紙と裏表紙は「クルマでいこう！」という30年以上やっている番組で、毎年1回「ENGINE FOR THE LIFE AWARD」ということで、「クルマでいこう！」の中で視聴者の皆さまからアンケートを取って、「一番良かったクルマ」「印象に残ったクルマ」というものを番組でご紹介しております。2017年に関してはスズキのSWIFT SPORTSという車が受賞して、こちらの方は浜松市にあるスズキ歴史館で撮影をまいりました。スズキ車が2車種、SWIFT SPORTSとSWIFTでした。2月から朝の6時半から7時半ですが、「BBC WORLD NEWS」の編成を始めました。こちらは日本の「BBC WORLD NEWSジャパン」の方から朝6時半から7時のものは録画放送、7時から7時半は生放送でお送りします。サマータイムになると全て生放送になりますが、サマータイムは3月からなので、3月からすべて生放送になります。その後は「NEWS930 α」と金曜日の「tvkNEWSハーバー」をご紹介します。その下は新番

組で、「帰ってきたウルトラマン」「名古屋行き最終列車2018」、これはメ〜テレさんの番組です。あとは「必殺仕置屋稼業」です。それと2月14日は「神奈川県公立高校入試問題解答速報」を編成しました。また2月25日は「毎日映画コンクール」の模様をダイジェストで、夜7時から7時55分でお送りします。「tvkの深夜アニメ」25時から25時30分、月曜日から金曜日です。他、台湾ドラマ、「関内デビル」「あっぱれ！KANAGAWA大行進」をご紹介します。タイムテーブルは以上です。続きまして特別番組です。2月25日「エンタメ開放区 プリンスアイスワールド40th anniversary ROAD OF THE ICE」。こちらは私どもの関連会社tvkコミュニケーションズがチケット販売などを手掛けておりますので、こちらを編成しています。今年は安藤美姫、村上佳菜子、小塚崇彦、その他冬季オリンピックに出たスケーターたちが新横浜スケートセンターで4月28日から5月5日に行われます。その次が「クミコが行く 世界遺産・熊野本宮 ふれあい旅」ということで、こちらはテレビ和歌山さんから熊野本宮創建2050年祈念ということで、和歌山の情報番組です。その後2月25日「毎日映画コンクール表彰式」。2月15日にミューザ川崎シンフォニーホールで行われました「毎日映画コンクール表彰式」をダイジェストでお送りします。今年は日本映画大賞として大林信彦監督の「花筐」、岸善幸監督の「あゝ、荒野」という映画が選出されています。2月25日「川崎市議会座談会」こちらは2月13日から行われています第一回定例会の予算審議が3月5日から行われますので、こちらを直前ということでお送りします。2月25日ですが、「福岡恋愛白書」。こちらは九州朝日放送、福岡になります。福岡の視聴者が実際に体験した恋のエピソードをまとめた純愛ドラマで、今年で12回目になります。その後3月4日「神奈川県公立高校入試 特色検査解説」ですが、こちらは神奈川県の横浜翠嵐高校、湘南高校、横浜サイエンス

フロンティア高校などの難関校が、5教科の学力検査に加えて第6の入試科目と言われている特色検査というものを各校ごとにやっております、こちらを解説をさせていただきます。その後5日6日「神奈川県議会中継」です。2月9日から行われている第1回定例会の本会議の様をダイジェストでお送りします。その後3月13日14日「神奈川県家庭婦人バレーボール大会」。こちら毎年恒例になっています。11月16日から地区大会が開催されておまして、先週日曜日に地区大会がすべて終わりました、3月3日4日、藤沢市の秋葉総合文化体育館で行われる決勝大会をオンエアさせていただきます。その後3月16日「ことば～あなたの愛する日本語はなんですか？～(仮)」。こちらはドラマ「希望の翼」を制作いたしましたtvkのOBが制作する番組で、日本文化、日本の芸術というものを知ってもらうために日本語をテーマにした番組をということで、ロバート・キャンベルさんと又吉直樹さんが出演する番組です。その後3月17日、「信州ステキライフ」、こちらは長野朝日放送さんの、「長野で暮らしませんか」というものです。その後3月21日は映画の時間で「君の名は 第二部」です。こちらは大みそかに「君の名は」をオンエアしたところ、視聴者の方からかなりのお電話をいただいたので、今回は第二部を編成いたします。3月22日「高校野球壮行特番」。先ほど社長からも話がありましたが、3月23日から4月4日までの13日間、慶応高校は9年ぶり9回目、東海大相模が7年ぶり10回目ということで、こちらの壮行番組をお送りします。3月27日28日は「神奈川県議会予算委員会中継」こちらは3月12日から行われます平成30年第1回定例会をお送りします。その後「横浜市会ダイジェスト」。こちら平成30年度第1回定例会です。3月29日に「神奈川県議会予算委員会中継」、こちら先ほどと同様です。その後3月29日夜9時から「ベイスターズ開幕直前スペシャル」。翌日3月30日に開幕しまして、tvkとし

ては現状41試合を編成することが決まっております。3月30日の開幕直前ということで、今日もベイスターズの番組を見ていただきますが、開幕直前スペシャルをお送りします。30日は「春休みアニメ名作劇場 ジングル大帝」、  
「猫のひたいほどワイドスペシャル」ということで、こちらは3月3日のイベントを交えながら。3月31日は「僕たちの小トリップ～広島篇～」ということで、牡蠣を特集します。3月31日は「人狼特番～人狼ゲーム公開記念スペシャル～」。こちらは今オンエアしているドラマの映画化がありまして、4月7日の劇場公開となっております。駆け足でしたが、2月3月の特別番組をご紹介しました。以上です。

山田委員長 ありがとうございます。事務局から2月のタイムテーブルと、2月から3月にかけての番組について説明がありましたが、これについてご意見、ご質問等がございましたら。

吉川委員 さっき社長からお話が3. 11に絡んであったと思うんですが、特に特番系では予定していないんですか。

中村社長 特番系では、はい。ニュースの方で取材に行くかどうかまだ聞いていませんが、そういうことがあるかもしれませんが。

林委員 よろしいですか。

山田委員長 どうぞ

林委員 3月16日の「ことば」という番組が仮題のようですが、OBの制作というのはよくあることでしたっけ。

中村社長 「希望の翼」というのを寒河江正さんというOBで、その時も、もうちを卒業された後で。要はそういう企画を立てたのでと。セールスも一緒に頑張ってもらおうということでやります。今年度開局45周年もあって、その一つの位置付けではあります。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら、今日は視聴合評で「ありがとう！ベイスターズ」という1時間の番組で、これにいろいろ、球春も近いですし、2番目の視聴合評に移りたいと思います。

近藤編成部長 こちらは昨年12月30日放送で、午後4時55分からオンエアしました「ありがとう！ベイスターズ」です。今日は角田スポーツ部長とプロデューサーの竹野が同席しております。よろしくお願いします。

#### 視 聴 合 評

山田委員長 ありがとうございます。昨年は本当にベイスターズ、ハラハラドキドキしながら楽しませていただきまして、まさにタイトル通り「ありがとう！ベイスターズ」ということなのですが、改めて竹野プロデューサー、角田スポーツ部長から番組の意図などをお話いただければと思います。

角田スポーツ部長 それでは私、角田の方から。皆さまご存知のように、私どもtvkではベイスターズを応援して中継も数多くやらせていただいております。開局以来、大洋ホエールズだったころから局としてベイスターズを応援してまいりました。局として年末にファンの方々が望まれるようなベイスターズを応援する番組をやるのは、非常に意味があることではないかということで、こういう番組を放送させていただきました。番組の内容については竹野プロデューサーからお話しさせていただきます。

竹野プロデューサー 竹野と申します。よろしくお願いいたします。今角田が言ったように、今年はベイスターズが2年連続のクライマックスシリーズと、19年ぶりの日本シリーズ出場と、本当に横浜が盛り上がり、横浜スタジアムも満員御礼を連発するような状況で。ベイスターズのファンも増えている状況で、地元局として年末という局の一番重要なコンテンツをぶつけるタイミングで、横浜DeNAベイスターズの番組をしたいということで放送することになりました。年末というタイミ

ングもあって、去年も私が番組に参加させていただいたんですが、座談会と称して居酒屋を設定したのは、ご出演いただいたメンバーは本当にベ이스ターズ愛が強い方々で。その中で居酒屋という場所で、緩い雰囲気の仕事が終わったサラリーマンたちが居酒屋で飲んでいる感覚のイメージを出したいなど、セットもあのように用意してやらせていただきました。出演していただいた吉川さんや野村さんや村瀬さんにはアンケートを取って、本人の熱くなった試合をピックアップさせていただいているんですが、それ以外は本当にベ이스ターズ愛が強い方々なので、ある種「ご自由にトークしてください」という雰囲気を作りました。放送自体、トーク部分は30～40分ぐらいだったと思いますが、実質3時間ぐらいしゃべってしまっていて、かなり長い現場ではありました。その分本当に、ベ이스ターズのファンからは結構、イベントで会った時も「あの番組、面白かったよ」と声を實際にかけていただいて、やった価値はあったのかなと思っております。トークの内容も今永選手の「～だよ」とか下園さんが出てきた「ゾノアイ」とか、ベ이스ターズファンの皆さんは笑っているところだと思うんですが、それ以外の方にはあまりなじみがない言葉かもしれません。神奈川県民やベ이스ターズファンにとっては、すごいポイントになる話題のトークもあったのかなと思っております。その点、逆に言うと難しいところもいろいろありました。選手が12月はオフシーズンになってしまいますので、実質放送は12月末だったので、制作の内容を詰めていく感じでいうと、11月いっぱいまでにいろいろ球団とのやり取りをしなければならず、そこらへんは段階を踏んでいくタイミングが難しいところがありました。あとクライマックスシリーズや日本シリーズは、我々は独立局なので素材のやり取りがなかなかできないことから、放送したTBSやテレビ朝日の方に角田部長を介して連絡を取ってもらったりとか、素材のやり取りが非常に難しくて。なにせベ이스ター

ズは約20年ぐらい日本シリーズからかけ離れているので、なかなか日本シリーズでのやりとりとか、球団とのやりとり、リピートのやり取りを憶えている者も少なかったりとか、系列局のようにいろんな、そういう経験が少ないものですから、そこらへんは比較的難しかったかなということを感じました。おおまかにはそんな感じでした。

山田委員長 ありがとうございます。放送は去年の12月30日でしたよね。収録はいつでしたか？

竹野プロデューサー 12月の中旬です。12、13日、そのぐらいです。

山田委員長 その時には一般のお客さんは周りにいたんですか。

竹野プロデューサー 昼間に撮ったので。

山田委員長 前だったんですね。

竹野プロデューサー 営業前に撮りました。

山田委員長 それでは委員の皆さんからいろいろ意見をいただきたいと思います。委員の皆さんの中にはベイスターズファンも巨人ファンも、広島ファンも阪神ファンもいらっしゃると思いますが、これはあくまでもtvkが制作したひとつの番組です。そこはちょっと球団から離れて公平なコメントを期待したいなと思います。それでは五大さん、トップバッターをお願いします。

五大委員 私はもちろんベイスターズファンです。ファンにとっては最高に楽しくてなにしろ放送されたのは30日ですから、地元ならではの番組かなと思ったんですね。自分もその居酒屋に行って仲間とベイスターズのことをしゃべっているかのように。出ている方も強烈なファンだということもすぐわかります。時々何を言っているのかわからないことがありますけど、それは感じてわかるので。途中笑ったり相槌を打ったりする場面もあって。これは本当に地元ならではの、「オイオイ」とテレビに手が届きそうな、そういうものを感じて、とても面

白かったし、いいんじゃないでしょうかね。ただ一か所だけ、背広を着た方が上着を着ていたけど、最初は違和感があって、「着るなら着る、脱ぐなら脱げ」と思ったんだけど、でも「居酒屋のおじさん」と言っていたので、「おじさんはああいうことをするな」と思ったので。とにかくアットホームな感じで、私はとても好感が持ててファンとしても良い番組でした。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして林さん、お願いします。

林委員

ベイスターズファンなら、だれでも楽しく過ごせるよある番組だと思います。「ベイスターズファンは満足度の敷居が低い」とか。あの吉川さんはとくに有名な方らしいですね。作家の何とかという方が「ベイスターズファンは上品でスマートだ」と本で書いていらっしゃいましたが、どこかそういう感じがして好感が持てましたね。楽しく、あまりしかつめらしくあだこうだというのではなく、楽しければいいんじゃないかという番組だと思うんですね。あそこはどうだ、ここがどうだというよりも、楽しく過ごせたらいい番組だと思います。ただ、藤木さんが出ていましたが、当然スポンサーのあれは入ると思いますが、藤木さんはお出にならなくてもよかったのかなと。三浦さんがお出になるのはいいですが、コメントも非常にきちっとしたコメントで、「非日常空間のスタジアムで、皆さんに楽しんでもらって元気をつけてもらう」という、非常にいいコメントを話されていてよかったんですが。藤木さんを相手にしなくても良かったのではないかと、これはいじわるなあれかもしれませんが。そういう気がしました。お一方で出てきてもいいし、tvkの女性アナウンサー、スポーツ担当の方が相手をなさってもよかったんじゃないかと思いました。それから少しですが、球場設備のことに触れていましたよね。あれは、東京五輪であそこでソフトボールとかをやるというお話になったんだと思いますが、それも説明がありましたが、どうせだったら、あれもちょっと突然違和感があるような話で、理由はわかる

んだけど。説明するんだったらもうちょっとこういう背景だったということも、もう少し話して下さってもよかったのかなと。下園さんが出られたのは引退されるからですね。私は下園さんはもうちょっとできるんじゃないかと思っていたんですが、引退の理由が「横浜で最後までやりたかった」という、いろいろご事情があるかと思うんですが、なかなか女性の人気が高くて。嫌味を言っていましたけど。楽しく拝見しました。藤木さんのところも。

山田委員長

今、ありあけハーバーの会長の話が出ましたが、言い分その他、いろいろあると思いますが、それは最後にまとめてお願いします。では続いて二宮さん。

二宮委員

私も年末にバイスターズの活躍を一年間振り返って、これはビデオとして永久保存版にして、何度も見直すようないい出来だったなと思っています。アナウンサーの方が非常にいい雰囲気だなと思いました。非常に真面目そうな方で。台本をきっちり。周りの雰囲気がめちゃくちゃにしゃべるところがあって、あの方だけは台本を一生懸命進めようという雰囲気が出て面白いなと思いました。時間配分の中で、やはりトークの部分と画像の部分はうまく配置されていてバランスも良かったのかなと。ただ1点、せっかく10大ニュースが10個並んだわけなので、そのタイトルがずっと下の方にあったんですが、まずタイトルがバーンと出て、それが画像とつながるといのが見やすかったかなと。それで10個全部出したわけじゃないんですよね、出ていなかったものもあるので、できればせっかく思い出話なので、そういうふうになっていたらもっと嬉しかったかなと思いました。以上です。

山田委員長

はい、ありがとうございました。それでは白石さん、お願いします。

白石委員

ゲームのVTRを拝見したところ、大体見ているんですね。ずいぶん昔のことだなと。感動したんですね、我々は。最初は負けていて同点して逆転した。それが非常に良かったと。まさにこのシーズンは、我々見る者の気持ちを熱く

するいい一年だったと思いました。それでやはり下園さんですか、引退される、あれだけのキャラクターを持っていながら、引退せざるを得ない。だから若い人が台頭しているんだろうと思うんですね。だからその辺もちょっと、しにくいんだろうけど、「あいつが頑張るから、俺はやめるんだ」と、酒を飲むんだったらそのぐらい後輩を勇気づけた方がいいのではないかと。花束とかもらうと、なんか暗くなっちゃうんですね、下園さんがいなくなるってことが。三浦大輔さんは、ありあけの藤木さんが「早く監督になったらよかったんじゃないか」というのは、ラミレス監督に失礼だと思います。我々はいずれ三浦大輔さんが監督になるのも見たいけど、あそこで言わなくてもいいと思います。それからビールか酎ハイか何かが出ていたので、もっとガブガブ飲ませてあげればよかったのに、と思いました。ビールを途中で下げたり。ラミレス監督とか筒香選手とかは、「ありがとう！ ベイスターズ」には欠かせない人だと思うから、声を聞きたいと思いました。それから林さんも言っていましたけど、トークが男性なので、ファンも半数は女性だと思います。どういう方がいいのか私にはわかりませんが、酒豪の女性もいらっしゃると思いますから、できれば女性が入ったらいいなと思います。それから関内の居酒屋さん亀松はしょっちゅうワイワイ騒いでいるんですかね。

竹野プロデューサー 試合が終わるとファンが集まるというような。

白石委員 終わってから。試合中じゃなくて。

竹野プロデューサー 試合中もテレビを見ながら。

白石委員 そうしたら難しいだろうけど、一年を通して勝ったの負けたのとバカ騒ぎをするところもちょっと入れた方が。画面に登場するわけですよね、ファンが。そうしたらいいかなと思いますが、それは年中やるのは難しいでしょうけども。特にクライマックスのところは、撮っておいた方がいいかなと感じた次第です。

以上です。

山田委員長

はい、ありがとうございました。続いて吉川さんお願いします。

吉川委員

ファンは、1年を総括するときに何が見たいんだろうなということを考えたときに、やはりもうちょっと。たとえばクリーンナップ3連発から始まる8月22日からの劇的な3連続サヨナラシーンは、もっと当時のことが何回でも反芻したいというのがファン心理だと思うので、駆け足でシーンが終わっちゃったのはもったいなかったなと。ゲームシーンがもうちょっと丁寧に扱われても良かったのかなと。皆さんもおっしゃっているように、吉井アナの語り口も良かったし、それからゲストとして出られた野村さんも、大好き度が伝わってくる村瀬さんも吉川さんも、座談会自体のトークは非常に好印象でした。ただ、私も、林さんがおっしゃっていたように、スポンサーの関係もあると思うんですが、なんで藤木さんが出て来て三浦さんのインタビューなのと。私自身は三浦さんのインタビューすらもいないという立場で。そしてハーバーがいちいち画面の隅に移ってくるというのが本当にいかにもという。私はむしろハーバーの印象を考えたら、コマーシャルの合間に何も言わなくて、ただ番長が出て来るだけのCMを流す方が、よほどみんながスツと爽やかな印象でまとめられたんじゃないかなと思って。それよりはやはり少しでも印象に残る試合シーンだったり。途中でちょっとだけロッカールームのシーンが映ったりしたことがあったと思いますが、普段なかなか見られないシーンがこうして出てくると、やはりファンにはたまらないと思うので。試合中の表情だとかキャンプから鍛えていたときのみんなのひたむきな様子だとか、そういうものから追って行って、1年これだけドラマチックな感動的な年だったので、いくらでも素材はあったと思うので、もっと今シーズンのペナントレースに焦点を当ててもらえたらなと。レジェンドマッチもいい企画だったと思いますが、それよりはペナントレースに照準

を当ててほしかったな。どなたかもおっしゃっていましたが、時期的な問題もあったと思うんですが、この番組の仕込みの、ラミちゃんの一言はもらってほしくて。電話インタビューでもなんでもよかったので。やはり監督登場シーンがなかったのは残念だったなど。下園さんが出てきたというのは非常によかった、いい企画だったと思います。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。布施さん、お願いします。

布施副委員長

私も非常に楽しく見ました。昔から、横浜ホエールズの頃から、僕はあの球団はあんな楽しいのに、なんでいつも勝てないんだと。もうちょっと厳しくいかないと、勝負だから勝てないんだろと思っていたら、中畑がやってきて。あの人は厳しく監督業をやっていたように感じていたけど、だけど中畑さんがあれだけやっても全然変わらなくてだめで。それでラミレスさんが来てポツと勝ちちゃった。どうしてだろうと。どうして勝てるのか。今年勝ったから来年も勝たなきゃならないんだから、そんなことばかりをテレビでいう必要はない、楽しい番組だけど、ちょっとそういう専門的なところがもう少し入って、なるほどなど。来年に向けて可能性はあるんだと。中畑さんのあの悲劇的な顔は見たくない。実はちょっと中畑さんの悪口を言ったけど、中畑さんを個人的に知っていますから、言ってもいいかなと。そういうことを考えてみたら、どこかでちょっとプロ的な、来年はどうするかという分析をすると、もっと期待が持てる、あるいは持てないということになって、来年も球場に行こうという気持ちになるんじゃないかなと思いました。私もかつてはこの頃はなかなか面倒くさくて、チケットも手に入らないから行かないけど、昔は私が関係している職場の卒業生が球団の会長さんだったこともあって、昔はよく行っていた。それはそれで楽しかったけど、同時にどうすればいいのと。イライラと。ベイスターズのファンが集まっている一杯飲み屋さんに行くと、すごく厳しい雰囲気みんなやけ酒

を飲んでいる。そういうことだけじゃなくて、なおかつプロフェッショナルの分析もあっていいんじゃないかなと。それがあると、もっと楽しく、野球、つまり娯楽であると同時にスポーツなんだから。スポーツ的に厳しい原理が働いているわけでしょう。その辺がどう混ぜると、いろんなファンの方に対応できるのかなと。ただ飲んでよかったというだけじゃ。「よかった」と言っている人たちの中に「来年大丈夫なのかな」というのが、チラチラ見えているような気がした。娯楽番組であると同時にスポーツ番組であるというふうにすると、もうちょっと見る人が安心して見られたかなと。私個人にとっては、面白かったけど、ちょっと不安の残る番組だったなと思いました。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。布施委員は不安の残るコメントを残しましたが、不安を解消するコメントを。私はこの番組を楽しく拝見させていただきました。まず解説の野村弘樹さん、PL学園のOBで非常にメリハリの効いた解説を聞いて、私は野村さんの実況の解説の時は一番安心して見たり聞いたりしています。それからtvkの吉井アナウンサーは、料理の中のスパイスの役目を果たしていて、非常にわかりやすく伝えていました。それから吉川さんと村瀬さんは、どういう人たちは存知上げませんが、いろいろなシーンを知っていて、思い出しては言ったり書いたりしていましたね。吉井さんと野村さんがこういう場面を伝えるのはプロですから当然だと思うんですが、一ファンの吉川さんと村瀬さんがいろいろなシーンを思い出して、それを言葉にしている。それでその言葉にしたのを、何か映像で同じようにやってくれたらわかりやすかったなと。山崎のジャンピングの場面なんかありましたね。突然指名されて出てきた。そのときに観客が中途半端な状態でジャンピングしたというようなこと。それも、もし映像で紹介できるのであればやってほしかった。それと、これは何度も出ていますが、三浦大輔さんの最後の言葉。これは長嶋の「ジャイアンツは永

遠に不滅です」というようなことを言って、それが語り草になっていますが、そのことをインタビューじゃなくて、ありあけの会長インタビューと三浦大輔さんの話の中じゃなくて、別途でやってほしかったなど。先ほどから出ています3連発、8月の広島戦。あれは阪神時代のバース・掛布・岡田、これに匹敵する非常に快挙だったんですよね。私はこの3連発だけでも10分か15分ぐらいの番組にして、印象付ける方法もあったんじゃないかなと。バース・掛布・岡田と今の筒香・ロペス・宮崎は、またちょっと時代が違い、ファン層も違うと思いますが、それは今お話ししましたように、阪神の時代と同じような印象を持ちますので、あのところはもうちょっと長く時間を取ってやっていただきたいかったなという感じがいたします。それとやはり気になったのは、これは民放ですから仕方がないことですが、ちょっとやはりコマーシャルが随所に入りすぎていたなという感じがいたします。これは先ほどもどなたかが言っていましたけど、ありあけのハーバーの会長さんはあれだけ出てきたから、本人も出なくてもよかったんじゃないかと。すみません、営業的なジャッジも言ってしまって申し訳ないんですが。全体的には本当に楽しい番組として拝見させていただきました。コマーシャルも含めてあつという間の一時間だったような感じがしました。そういうことで今年もちょっと、布施副委員長は不安が残ると言っていましたけど、私は今年もやってくれるんじゃないかなというのがあります。それは番組からちょっとはずれたところで、意見を言わせていただきました。以上です。何か言い足りないこと。

吉川委員

あと10大ニュースのところにもラミレス監督の采配が入っていたのだから、やはりクライマックスシリーズでの今永のリリーフ起用とか、話題になったものを触れてもらってシーンもあわせて出してほしかったなと思いました。すみません、それを言い忘れました。

山田委員長 他にございませんか。それでは竹野プロデューサーから。いろいろ疑問や意見が出ましたので、何か。反論したいこともありましたら。

竹野プロデューサー いえいえ。いろいろ貴重なご意見をありがとうございました。ラミレス監督の采配とか、日本シリーズでの采配とか、山崎康晃投手が9回ではなく8回に出て来てとか、本当に映像として入れたいのはやまやまだったのですが、実はこれは制作の裏側という大変ですが、実は吉川さんとか野村さん、村瀬さんに「こういう、思い出に残るシーンを選んでください」というときに、我々が中継した試合じゃないと素材が使えないので。「うちが中継した30~40試合ぐらいの中からを選んでください」みたいな言い方をしている部分もあったのです。なので日本シリーズの素材も使えないですし、山崎康晃投手が8回で出てきたシーンもインサートで入れたいんですが、実は使えないという権利的な裏があったというのが、泣く泣くというところではありました。なので実は今、この流れているシーンはすべてtvkが中継した試合の映像を使っているというような裏がありまして。正直、制作費がふんだんにあったらバンバン素材を買って、いくらでも使えたんですが、そういうせめぎ合いがありました。結構吉川さんや村瀬さんはファンの中で知られていて、村瀬さんについては大洋ホエールズ時代からずっとファンで、本も書かれているぐらいの方です。吉川さんについても「ベ이스ターズ芸人」と名乗っていて。本当は電車が大好きで電車の番組とかでかなり全国ネットで出るような方なんですが、最近はベ이스ターズの仕事を多くやっているの、結構オフィシャル的という大変ですが、ベ이스ターズのファン感謝デーの司会も、吉川さんは球団から依頼されてやっているぐらいの知名度が出てきた方です。逆に言うと、今ベ이스ターズを好きなタレントさんだったり、このレベルまでしゃべられなくても結構トークができる女性の方とか、もしいらっしゃったら今後も混ぜていきたいなど思っている次第で

す。実はベ이스ターズは、DeNAになるまでは人気球団とは言えなかったの  
で、そういうタレントさんや著名の方は少なかったの、これからどんどん増  
やしていければなと思っています。あと野球の目線に関してお話を受けまし  
たが、放送の尺の都合上、あくまでこの番組は、ワイワイ、ガヤガヤとバラエ  
ティっぼくというのを一つのコンセプトにやっている番組です。その野球的な  
目線、ラミレス監督のコメント、選手のあのシーンはこうだったというのは、実  
は「ニュース930」という番組でスポーツコーナーがあって、年末に特集をや  
ったりしました。秋季キャンプに行って、ラミレス監督に今シーズンを振り返っ  
てもらって、「采配はこういう意図でやった」とか、「あのシーンはこういう裏が  
あって、こういう選手を起用した」という、ちょっとスポーツ的な切り口の特集に  
ついてはニュースで放送していたというのがありまして、今回はあくまでバラ  
エティっぼく、ほんわかした番組を作りたいなという意味でトークに終始したと  
いう意図がありました。以上です。

角田スポーツ部長

私から付け加えて、若干の。先ほども何名の方からお話をいただきました、  
三浦大輔さんと藤木さんのトーク。これは皆さんもおわりの通り、いろいろ  
営業的な事情もございまして。番組を作るには制作費がないと作れませんの  
で、まずはそれを補助していただける非常に有り難いという。そういう意味で  
はうちの放送を使ってPRしていただくというのは、非常にお互いにメリットが  
あるところだと思います。確かに見せ方はいろいろあると思いますので、今後  
いろいろ考えていきたいところではありますが、これはうちの営業の担当が先方  
との打合せの上で考えていくところでもあります。

山田委員長

一つ些細な事ですが、気になったことですが、番組途中でスタメンとローテ  
ーションというのが吉井アナからありましたよね。どなたかが、「えー、まだ早  
いんじゃないんですか」と言いながらももう出かかっているわけですが、ああ

いうときは「待ってました」というような感じで4人がバーンと出した方が盛り上がったんじゃないかと。「待ってました」という感じで上げた方がより盛り上がったような気が、個人的にはしています。他にどなたか言い足りないことがありましたら、布施さんは。

布施副委員長

いいんですか。さっきも言ったように、不安が残るところはあるんですが。今年はどうだ、来年はどうだと思っちゃうわけ。若干の知り合いだから中畑みたいに、ラミレスさんがなると困るなど、ラミレスさんがどういう戦略を立てて何をやっているのかというのは、あまりファンにとっては見えないよね。なんとなく。でも野球を昔高校とかにやっていた奴から言わせると、野球で勝つのは偶然じゃなくて必然じゃなきゃだめなんですよね。きちっとした論理で勝っていかないといけないから。そういうスポーツでしょう。そういうところがもっと出てくると、来年も再来年も大丈夫だぞという気にもなるけど。なんかニコニコしちゃって、ラミちゃんが出てくると雰囲気ですごい勝っちゃったみたいで、大丈夫なのと思っちゃうの、俺は。個人的に。

山田委員長

でもラミレス監督はすごく緻密ですよ。

布施副委員長

とにかく今年は勝負だよ。

竹野プロデューサー

今年は正直下がる要素がないので。キャンプとか行っていますけど、どの記者、どの解説の方も、間違いなくペナントレースで上が狙えるという話は聞きますね。

布施副委員長

なんとかやってもらわないと。スタジアムの運営も困っちゃう。横浜市もお金を出していますからね、市としても困るんじゃない。野球のことだけでなく営業の問題でも。

山田委員長

それでは盛り上がっているところですが、時間も来ましたので、3番目その他報告事項に行きたいと思います。

近藤編成部長 はい、それでは視聴者対応について報告をさせていただきます。1月13日から2月16日、電子メールは7,941通、お電話は594件で、ご覧のようなご意見をいただいております。めくっていただいて、お問合せメールは「猫のひたいほどワイド」が群を抜いていますが、「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」「かながわ旬菜ナビ」等へのお問い合わせをいただいております。こちらは以上です。

山田委員長 ありがとうございます。視聴者対応について説明がございましたが、何かご意見やご質問がございましたら。

二宮委員 すみません。これ、つながっていないかもしれませんが、先ほど吉川先生から、3月の特別番組で東北地震がらみのものはないのか、というご質問がありました。今「旬菜ナビ」で福島の企画を、多分、3月ぐらいにオンエアですか。

近藤編成部長 3月の取材で、放送は3月中か4月にこぼれるのかなと。オンエア日はまだ。

二宮委員 ちょうど福島もだいぶ規制が緩くなってきたので、農家の元気を伝えたいという考えでやっていますので。すみません。

山田委員長 よろしいですか。視聴者対応について、何かご質問等は。ございませんか。では前回の番組審議会の報告です。

近藤編成部長 それでは、前回の放送番組審議会の議事報告になります。

#### 議 事 報 告

山田委員長 本日の議題はすべて終了いたしました。何かお話ししておきたいこと等がございましたら。どうぞ。

山田委員長 よろしいですか。他にお伝えしたいことはございませんか。ないようでしたら、今日はこれにて閉会とさせていただきます。